

設定時間、設定場面、設定状況。体験的、実践的な避難訓練のための改善の視点

昼休み中に緊急地震速報が鳴動。児童・生徒は、自身のいる場所を瞬時に確認の上、最も適切な避難行動を取る。放送の指示で校庭への避難を行うが、途中で避難経路が寸断されたり、行方不明者が発生したりするなどの事態が発生。本部の指示に従い、教員は、それぞれの分担に分かれて対応する。校庭にて休憩中に発災した時の対処の仕方について振り返る。

【A-エ】昼休み中 【B-エ】渡り廊下や非常階段等、事前に想定した避難経路が被害を受けて使用できず


【B-カ】校内において、教員と児童・生徒が行方不明 【C-(2)-エ】転倒物に見立てた段ボール等を置く。

【C-(5)】教職員の役割分担を明確化する。 【C-(6)-イ】119番通報訓練

1 時間・場所等

午後1時5分、昼休み中に緊急地震速報が鳴動する。各自、それぞれの場所で避難行動を取った後、校庭に避難する。集合後、全体指導を行う。(計25分間)

2 避難訓練の時系列及び児童・生徒及び教職員の動き

| 時間等           | 設定状況等              | 児童・生徒の動き  | 教職員の動き  |
|---------------|--------------------|---|---|
| 1時5分          | ● 緊急地震速報鳴動         | ● 身の安全を図る。<br>(自分のいる場所に応じた危険回避行動を取る。)<br>● 防災頭巾等の着用<br>防災頭巾等が身近にない場合は、手や鞆等で頭を守る。<br>● 教職員の指示に従う。                      | ● 自身の身の安全を図るとともに、近くにいる児童・生徒に危険回避行動を取るよう指示する。<br>● ヘルメット等の着用<br>● 児童・生徒、教職員、来校者等に対して、落ち着いて避難行動を取るよう指示する。(校内放送)               |
| 1時6分          |                    | ● 校庭にいる児童・生徒は中央で丸くなってしゃがみ身を守る。<br> | ● 近くの児童・生徒に、揺れが収まるまでそのままの姿勢を取っているよう、声をかける。  |
| 1時11分         | ● 揺れが収まる           | ● 自他の怪我の有無の確認<br>● 放送の指示を聞く。  | ● 負傷者の有無の確認   |
| 1時13分         | ● 避難開始<br>● 避難経路変更 | ● 放送の指示で、避難開始<br>● 校舎内や体育館にいる生徒は、西側の昇降口から校庭に避難する。   | ● 本部設営及び指揮<br>● 下駄箱が倒れて中央昇降口が使用できないことが分かり(転倒物に見立てた段ボール等を置く)、校舎内にいる児童・生徒の避難経路を変更。西側の昇降口を用いるように指示<br>● トイレに残留児童・生徒がいないかを確認する。 |
| 1時18分         | ● 人員点呼<br>● 避難完了   | ● 各学級ごとに整列<br>・座って静かに待つ。  | ● 人員報告、負傷者の有無の確認<br>● 教員1名、児童・生徒2名行方不明<br>● 連絡班は、搜索場所を分担し、行方不明者の搜索  |
| 1時20分<br>(5分) | ● 講評               | ● 各学級ごとに整列<br>・座って静かに待つ。<br>● 消防署員の話の静かに聞く。   | ● 行方不明者発見<br>● 救護班は、119番通報訓練<br>● 訓練全般の講評(消防署員)   |